

イラスト表現等の手引き

－ 男女共同参画にかかわる留意事項 －



目 次

はじめに	… 2
1 性別の一方に偏った表現にならないよう留意しましょう	… 3
(1) 全ての方々に伝わる表現を心がけましょう	… 3
(2) 男女がバランスよく登場するよう表現しましょう	… 3
2 性別を固定的に表現することなく、 多様なあり方を表現しましょう	… 4
(1) 役割や職業（役職）を、 固定的に描いていないか留意しましょう	… 4
(2) 様々な個性を表現しましょう	… 4
3 その他、イラスト等の表現での留意事項	… 5
(1) 男性が中心的で、女性が脇役的な 表現となっていないか留意しましょう	… 5
(2) 女性をむやみに“アイキャッチャー”にしない	… 6
(3) こんな言葉や表現にご注意を（代表的な言葉や表現）	… 6
おわりに	… 9

はじめに

行事の開催やお知らせのため、ホームページやチラシなどにおいて、説明文章ばかりでなく、イラストを用いて表現されていることが多いと思います。

イラスト及びイラストを使用しての文章表現は、読む方の関心をえるための有効な手段である一方で、作成する側の意図や目的にかかわらず、特定のイメージを与えたり、誤解を招くことにもつながりかねません。

このイラスト表現等の手引は、イラスト及びイラストを使用しての文章表現にあたって、男女共同参画にかかわる留意事項をまとめたものです。

ホームページでの紹介やチラシなどの作成にあたっては、この手引きを参照いただき、イラスト表現等に留意いただくようお願いいたします。

また、男女共同参画にかかわる事項に限らず、社会の多様なあり方にも注意しましょう。

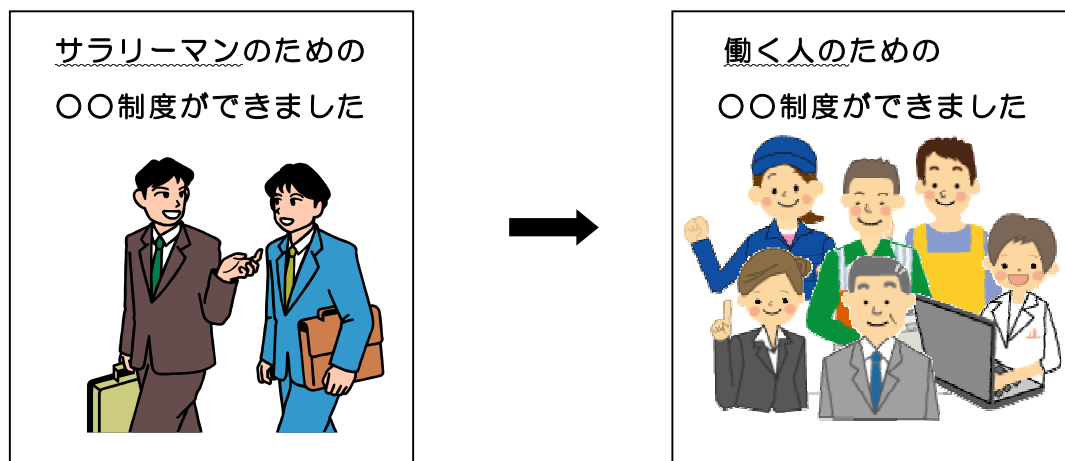
1 性別の一方に偏った表現にならないよう留意しましょう

チラシやホームページは、言うまでもないことですが、全ての方々が、その情報の受け手であることを前提とする必要があります。

(1) 全ての方々に伝わる表現を心がけましょう

情報の内容が、性別に関係なく伝える事柄なのに、いずれか一方に偏ったような表現をすると、情報の内容が正しく伝わらないこともあります。

例えば、下記のイラストですが、



まず、「サラリーマンのための…」というように、男性をイメージするタイトルやイラストを使用すると、女性は「自分対象ではない」と思うかもしれません（様々な受け止め方をする人がいます）。

また、「働く人全てを対象とした制度」の場合、背広を着た人だけが描かれていると、背広を着用しない職種の方には「自分は対象ではないのか…」と伝わってしまうかもしれません。

右のような言葉やイラストを用い、幅広く表現することによって、より正確に情報が伝わりやすくなります。

(2) 男女がバランスよく登場するように表現しましょう

行事のイラストなど、参加者に男性ばかりが描かれていると、女性が参加できる行事であっても、女性が参加しにくい印象を与えるかもしれません。

情報の内容にもよりますが、イラストに登場する（老若）男女のバランスなどにも配慮し、一方に偏りのない表現が必要です。



2 性別を固定的に表現することなく、多様なあり方を表現しましょう

現代では、ライフスタイルが多様化し、家族の形態や家庭での役割分担なども様々となっています。

また、社会には、性別、職業、社会的地位、外見、関心、性格、年齢の違いなどで多様な人々が存在しています。

イラストや写真で、わかりやすく表現しようとしたつもりが、表現の仕方によっては、特定の役割やあり方を示している（決めつけている）といった印象を与えてしまう場合もあります。

（１）役割や職業（役職）を、固定的に描いていないか留意しましょう

例えば、家事や育児、介護をする人物を、常に女性で表現したりするのは「家事や育児、介護は、女性が担うもの」と示している（決めつけている）という印象をもたれるかもしれません。

また、技能や体力を要する職業には「男性だけ」を描いたり、心配りが期待される役割には「女性だけ」を描いたりすることなども、適切な表現とはいえません。

役割や職業、役職などを示すイラスト等の表現は、「性差によって区別されるような表現」となっていないか、留意が必要です。

「男女が、家事、育児を協力しあったり、様々な職業や役職に就いたりしている」といった、多様なあり方を反映する表現を心がけましょう。

イラストの一例



左のイラストは、乳幼児の予防接種のお知らせに使われたイラストです。

父親が、子どもを抱いて予防接種させる姿を描くことで、子育ては母親だけの役割ではないことを表現することもできます。

また、医師を女性にすることで、医師は男性だけの職業ではないことを示すこともできます。

（２）様々な個性を表現しましょう

人の服装や外見、興味や関心、性格や行動について、「男なら〇〇」、「女なら〇〇」と画一的に表現しがちですが、多様性を踏まえて、固定的なイメージの押しつけにならないよう配慮が必要です。

服装や外見については、「複数の女性が登場しても、スカートを着用し、

色調は赤やピンク」を、「複数の男性が登場しても、スーツを着用し、色調は黒やグレー」といったことはありませんか？

同様に、興味や関心については、「男性は、力強いものや理論的なもの」を、「女性は、穏やかなものや情緒的なもの」を好むかのように表現し、性格や行動については、「男性はたくましく積極的」に、「女性は優しく控えめ」というように描きがちです。

しかし、性別だけで、「興味や関心」、「性格や行動」が決まるものではありませんので、幅広いイメージを表現することが必要です。

例えば、子どもの遊びを表すイラストでは、「男の子はサッカーや野球、女の子は人形遊びやお絵かきをする」などの表現がよく見られますが、もう一手間を惜しまず、多様な表現で、例えば「ズボンで元気に遊ぶ女の子や、赤い服で絵を描く男の子」が登場することも必要です。



3 その他、イラスト等の表現での留意事項

性別の一方をクローズアップした表現や、役割や役職などのイメージを固定化した表現のほかに、「性別と上下（主従）の関係を結びつける表現になっていないか」などにも、ご注意ください。

（１）男性が中心的で、女性が脇役的な表現となっていないか留意しましょう

職場や地域の会議風景などで、「男性が中心的な存在（指導者的な立場）のように描かれ、女性は周辺的な存在（補助的な立場）のように描かれる」ことがあります。しかし、「男女は対等であり、地位や立場も様々である」ことを心がけ、表現する必要があります。



（２）女性をむやみに“アイキャッチャー”にしない

「人目を引く」などのために、内容とは関係なく、女性の容姿や顔をポスターなどで使う場合がありますが、特に、水着などで女性の性的側面を感じさせる表現を用いると、内容が正確に伝わらない可能性があるばかりでなく、嫌悪感を与えることにもなりかねません。



（極端な例）

（３）こんな言葉や表現にご注意を（代表的な言葉や表現）

ふだん、何気なく使っている言葉なども、「男性中心としてきたこれまでの社会構造などを暗に示す」ことにつながりかねません。

使用する機会は少ないと考えますが、端的な表現と考えられても、ケースによっては、優劣や主従（上下）などを表すことにもなりかねないので注意が必要です。

【日常的に使っていても避けたい表現】

避けたい表現	その理由	望ましい表現
主人・旦那 奥さん 女房・家内	男女の主従（上下）関係を示すかのような表現であるため	夫・配偶者・パートナー 妻・配偶者・パートナー
人妻	人（夫）の所有物のような印象を与える表現のため	既婚の女性
帰国子女	「子女」の表記について議論があり、文部科学省等も使用していないため	帰国児童（生徒・学生） 海外帰国者

避けたい表現	その理由	望ましい表現
男性を姓、女性を名で表記する	男女ともに統一した敬称や呼称を使用した方が望ましいため	男女で表記を統一する
夫婦を、夫は姓、もしくは姓で、妻を名のみで表記、紹介する		夫婦ともに姓で表記、紹介する。または、最初に姓を表記、紹介した後でそれぞれの名を表記するなど
女流作家 女子アナ 女医 女性弁護士 女性議員 婦人警官 etc	「女流」、「女性」などと冠することは、その職業が普通は男性のものであることを暗に示し、女性はその職業に就くことを「特別視」することにつながるため	作家 アナウンサー 医師 弁護士 議員 警察官 etc
男まさり 男顔負け 女だてらに 女にしておくのはもったいない 女々しい etc	「女性が男性より劣ることを前提としたような」意味あいの表現のため	使用しない
保母・保父 看護婦 保健婦 助産婦	法律により名称が変更になったため	保育士 看護師 保健師 助産師
嫁にやる	人を「物」のように扱っている表現であるため	使用しない

【使用するとしても注意する必要がある表現】

注意する表現	その理由	他の表現
嫁 嫁ぐ 婿 舅（しゅうと） 姑（しゅうとめ）	かつての家長制度に基づく表現 のような印象を与えることもあるため	子の妻（子の連れ合い等） 結婚する 子の夫（子の連れ合い等） 妻（夫）の父 妻（夫）の母
婦人・婦女	年配・既婚女性といった狭い範囲 で限定するイメージがあるため	女性
老女・老婦人	年齢や性が強調されているため	高齢の女性
父兄	男性のみを想定し、女性は対象外 と受け取られる恐れがあるため	保護者
女子高生 女子学生	性が強調され、嫌悪感をもたれる 可能性があるため	（女子の）高校生 （女子の）学生

おわりに

以上、ホームページやチラシなどを作成するうえでの留意点・注意点を示しましたが、要約すると以下のとおりです。

■ 要約（男女共同参画にかかわる留意点）

- ☐ 全ての方々が情報の受け手であることを意識し、性別の一方を表現するのではなく、バランスよく表現する。
- ☐ 性差によって、役割や職業（役職）、興味や関心、性格や行動などを区別するような表現になっていないか留意する。
- ☐ 誰が見ても内容が伝わりやすく、また、違和感、疎外感を抱かせない表現となるよう留意する。
- ☐ イラストやデザインを委託する場合は、委託業者に上記の留意点をよく理解してもらう（働きかける）。

お問い合わせは

市民部 人権男女共同参画課 男女共同参画担当まで

電話 0 2 7 - 3 2 9 - 7 1 1 8（男女共同参画センター直通）

